

沖縄県伊平屋村民の健康増進や生涯スポーツの拠点はもとより、スポーツを通じた交流拠点としてさらに取り組みを強化するために多目的広場および陸上競技場が拡張整備されました。それに伴い、施設の周囲を囲む形で設置されていた投光器搭載の照明柱をすべてリニューアルし、LED 投光器に更新。明るく、安全で、快適なスポーツ環境を確保しながら大幅な省エネが実現しています。

S443

全国的にも珍しい夜に走るマラソン大会「伊平屋ムーンライトマラソン」のスタート地点となる「伊平屋村スポーツコンベンション拠点施設」。陸上競技場(200mトラック)、野球場、イベント広場を有したグラウンド周囲にはジョギングコース(L=420m)も設けられ、イベント時に使用する屋外ステージも設置されています。



【物件概要】
 所在地：沖縄県伊平屋村字我喜屋
 グラウンド面積：約 14,200㎡
 施主：沖縄県伊平屋村教育委員会
 設計施工管理：上城技術情報㈱
 施工：多目的広場拡張工事／(有)伊平屋興行、(株)伊葉開発、三伊土木(有)
 陸上競技場整備工事／(株)共洋土建
 屋外照明設備工事／(有)大進工業
 完成：平成 29 年 3 月

陸上競技場と野球場を有するグラウンド周囲に 1 基当たり LED 投光器 4 台× 2 段を搭載の照明柱 7 基を設置し、快適なスポーツ交流拠点の環境を整備

地上 14.5m の照明柱を JIS 基準における野球場の配置制限範囲を考慮しつつ、施設面積の拡大等を踏まえてグラウンドを囲む形で外周 7 か所に設置し、LED 投光器は照明柱 1 基当たり HID 1kW 相当を 4 台× 2 段にして搭載。塩害対策として照明架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとし、台風対策としては投光器の落下防止ワイヤーを装備しています。LED 投光器は照射距離に応じて遠距離用の中角形と近距離用の広角形を使用し、明るさを確保。眩しさを抑制するため、照明柱を既存より 2m 高くしたこと、方向性の異なる光を適度に混ざり合うように照射角度

の調整を行っています。平均照度は、陸上競技場:135ルクス、野球場:227ルクス(内野)、139ルクス(外野)が得られています。

利用競技としては、主に陸上競技と野球ですが、用途によって必要範囲でレクリエーションレベルの利用ができるように、必要灯具を点灯させて陸上競技パターンと野球パターンの 2 種類の点灯パターンを中心に、ジョギングでは千鳥点灯を、人数の少ない場合はグラウンド隅の照明柱のみの点灯を行うなど、LED 照明の特性である瞬時点灯・再点灯性能が可能だからこそそのメリットが活かされています。



野球場から陸上競技場を望むLED投光器点灯時の夜景



LED投光器点灯時の多目的広場および陸上競技場



消灯時のLED投光器



点灯時のLED投光器



LED投光器 中角形
LEDS-50408NM-LJ2



LED投光器 広角形
LEDS-50408NW-LJ2

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考	
屋外	LED投光器1kW効率重視形 メタルハライドランプ器具相当	LEDS-50402NM-LJ2	1	消費電力:594W	
		LEDS-50408NW-LJ2	6	消費電力:505W	
		LEDS-50408NM-LJ2	22	消費電力:505W	
		LEDS-50402NW-LJ2	27	消費電力:594W	